

平成23年度 シラバス	学年・期間・区分	5年次・後期・B群	
	対象学科・専攻	電子制御工学科	
ネットワーク概論 (Introduction to network)	担当教員	福添 孝明(Fukuzoe, Takaaki)	
	教員室	普通教室棟3階(42-9086)	
	E-Mail	fukuzoe@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義 / 学修単位[講義 I] / 1単位		
週あたりの学習時間と回数	[授業 (100分) + 自学自習 (80分)] × 15回		
〔本科目の目標〕 通信技術は社会構成へ大きな影響を与える程度に急激な進化を遂げている。本科目では身の回りで使われている通信技術を紹介し、その基本的な考え方を理解することを目標としている。			
〔本科目の位置付け〕 通信技術に興味がある学生の受講を想定している。			
〔学習上の留意点〕 ネットワーク技術は、使用する目的や場所によっては、法律や内規によって使用が禁止されていることがあるため、実践する場合には十分な注意を払うこと。			
〔授業の内容〕			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. ネットワークの歴史	2	ネットワークの歴史を知ることが出来る。	ネットワークの歴史について調べておくこと。
2. TCP/IP階層モデル (利用者)	14	TCP/IP階層モデルの意味を理解出来る。 各層 (ネットワークインターフェース、インターネット、トランスポート、アプリケーション) で用いられている技術を利用者側の面から理解できる。	ネットワークの仕組みについて参考書を用いて勉強しておくこと。
--- 後期中間試験 ---		授業項目1~2について達成度を確認する。	
3. 符号と暗号	8	代表的な符号化方式や暗号化方式を理解することが出来る。	符号理論や暗号理論などの本について目を通しておくこと。
4. TCP/IP階層モデル (管理者)	4	TCP/IP階層モデルの各層で用いられている技術について、管理者側の面から理解できる。	ネットワークの仕組みについて参考書を用いて勉強しておくこと。
--- 後期期末試験 ---		授業項目1~4について達成度を確認する。	
試験答案の返却・解説	2	各試験において間違った部分を理解出来る。	

[教科書] なし

[参考書・補助教材] マスタリングTCP/IP 入門編 竹下 隆史ら オーム社 情報理論 今井秀樹 昭晃堂

[成績評価の基準] 中間および期末試験(100%)

[本科(準学士課程)の学習教育目標との関連] 3-c

[教育プログラムの学習・教育目標との関連] 3-2

[JABEEとの関連] (d) (1)②

メモ欄

A series of horizontal dashed lines for taking notes, filling most of the page below the header information.